

1 基本情報

施設名称	大阪市立北スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	大阪スポーツパートナーズ 【構成員】 コナミスポーツ株式会社 近鉄ファシリティーズ株式会社 イオンディライト株式会社 株式会社 COSPA ウエルネス 株式会社 サンアメニティ
指定期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和11年 3 月31日
評価対象期間	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		99.1%
達成率		123.9%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	100.0%	99.6%	0.4%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	98.5%	98.7%	-0.2%

利用状況（多目的 1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	93.5%	94.3%	-0.8%

利用状況（多目的 2・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	24,476,315	23,979,000	497,315	第1体育場の工事休館に係る補填額
	計画	23,979,000	23,979,000		
利用料金（使用料）収入	実績	6,658,240	7,725,390	-1,116,760	計画より多目的室利用者増のため
	計画	7,775,000	7,760,000		
自主事業収入	実績	14,973,501	18,015,966	33,501	第1体育場の工事休館に伴い 教室収入は減少
	計画	14,940,000	14,800,000		
その他収入	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
合計	実績	46,108,056	49,720,356	-585,944	
	計画	46,694,000	46,539,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	19,663,356	15,848,352	2,312,056	最低賃金の改定に伴い増加
	計画	17,351,300	17,199,000		
物件費	実績	12,211,760	14,431,111	-1,409,240	第1体育場の工事休館に伴い 光熱水費の減少
	計画	13,621,000	13,651,000		
修繕費	実績	2,462,730	2,216,500	727,730	修繕箇所の増加
	計画	1,735,000	1,735,000		
自主事業支出	実績	9,282,222	13,065,675	-1,939,778	新規教室数の増加に伴う講師料増
	計画	11,222,000	11,200,000		
その他支出	実績	3,737,875	3,817,550	973,175	ほぼ計画通りに推移
	計画	2,764,700	2,754,000		
合計	実績	47,357,943	49,379,188	663,943	
	計画	46,694,000	46,539,000		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	123.9%	S	

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<div>・ 物品購入は年間計画に基づき、必要最低限の数量を購入。 ・ 本社一括仕入れによる備品単価の値下げ。 ・ パソコン使用による、連絡・情報共有により、ペーパーレス化。 ・ 光熱水使用量の削減への取り組みとして、空調機のON・OFFの使用状況を管理表に記載し、使用時間と電気代の関連を確認、かつ風量・温度などを気温、気候に合わせてこまめに調整。 ・ タイマーによる照明のON・OFFにとらわれず、状況（明るさ）に応じたON・OFFを実施。 ・ 消耗品等の在庫管理。（月別） ・ 共用部照明灯の間引き。</div>	B	

令和7年度 指定管理者年度評価シート

(3) 管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
	施設の管理運営	B	
	事業計画の実施状況	B	
	施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性		B	

5 利用者ニーズ・満足度等

<ul style="list-style-type: none">・意見箱を設置して、その意見に対する回答を3日以内に掲示。・利用者アンケートを実施し、その意見を踏まえて施設運営に反映。・従業員が直接話をお聞きし、改善すべきところは早急に改善。・直接いただいた意見・要望を全従業員の共通項目とし、施設運営に反映。
--

6 外部専門家意見

<p>第1体育場、第2体育場及び多目的室の施設稼働率が昨年度に引き続き高い水準を維持しており、地域住民をはじめとする利用者に施設を有効に活用してもらえている点は高く評価できる。また、施設の空き状況が分かるよう情報提供を工夫していることについても、利用者の利便性向上やさらなる施設利用の促進につながる取り組みとして評価できる。</p> <p>また、今年度においては利用者満足度調査でも昨年度から21.9%も上昇しており非常に高い評価を得ることができている。昨年度の結果を踏まえ、課題を分析し、それを適切に施設運営に反映したことで結果につながったのではないかと。次年度以降も継続して高評価を得られるよう、利用者ニーズの把握と施設運営への反映に引き続き尽力していただきたい。（特に利用者の新たな不満事項に真摯に向き合い、できるだけ早期に解決を図っていただきたい）</p> <p>収支については、第1体育場の休館が影響して収入が落ち込んだ影響も大きかったものと考えられるが、一方で支出についても計画比・昨年度比ともに増加し、収支差がマイナスとなっている状況は適切とは言えない。今後はより一層の収支改善に取り組んでいただきたい。</p> <p>管理費の縮減に係る取組状況については、民間事業者による管理運営の強みを活かした取り組みが行われている点は評価できる。一方で、その内容は昨年度と同様のものとなっていることから、これまでの取り組みを継続するだけでなく、民間事業者ならではのノウハウや創意工夫を活かし、社会状況や運営実態に応じて取り組み内容を更新・発展させながら、更なる管理費の縮減や効率的な施設運営に取り組み、収支の改善につなげていただきたい。</p>
--

7 最終評価

評価項目		評価	所見
成果指標の達成		S	
市費の縮減		B	
管理運営の履行状況		B	
	施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
	施設の管理運営		
	事業計画の実施状況		
	施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性			
総合評価		B	

1 基本情報

施設名称	大阪市立下福島プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	大阪スポーツパートナーズ 【構成員】 コナミスポーツ株式会社 近鉄ファシリティーズ株式会社 イオンディライト株式会社 株式会社 COSPA ウエルネス 株式会社 サンアメニティ
指定期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和11年 3 月31日
評価対象期間	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		98.3%
達成率		122.9%

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		98.8%
達成率		123.5%

2 管理運営の成果・実績（アイススケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		
達成率		

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	106,223	99,021	7,202
稼働率			

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	23,565	22,937	628
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	38,913	36,250	2,663
稼働率			

利用状況（アイススケート）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	70,992,000	70,992,000	0	
	計画	70,992,000	70,992,000		
利用料金（使用料）収入	実績	54,012,000	49,696,900	-2,155,000	8月屋外プール・冬場の屋内プール 利用者が少なかったため
	計画	56,167,000	56,000,000		
自主事業収入	実績	91,046,833	67,298,884	15,742,833	教室在籍者数増加による増のため
	計画	75,304,000	74,600,000		
その他収入	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
合計	実績	216,050,833	187,987,784	13,587,833	
	計画	202,463,000	201,592,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	104,093,926	99,156,590	14,036,426	最低賃金の上昇のため
	計画	90,057,500	89,323,000		
物件費	実績	73,417,311	83,932,394	-246,689	ほぼ計画通り
	計画	73,664,000	73,664,000		
修繕費	実績	7,582,190	8,412,410	-1,217,810	計画的な修繕の実施
	計画	8,800,000	8,800,000		
自主事業支出	実績	13,467,884	15,195,585	-3,129,116	業務委託等の効率化により削減
	計画	16,597,000	16,519,000		
その他支出	実績	14,736,550	13,471,141	1,392,050	ほぼ計画通り計画と通り
	計画	13,344,500	13,286,000		
合計	実績	213,297,861	220,168,120	10,834,861	
	計画	202,463,000	201,592,000		

令和7年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	122.9%	S	

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・物品購入時、使用頻度を確認し、適正購入を推進。 ・本社一括仕入れによる備品単価の値下げ。 ・パソコン使用による、連絡・情報共有により、ペーパーレス化。 ・光熱水の時間天候別ON・OFFの徹底 ・タイマーによる照明のON・にとられず、状況（明るさ）に応じたON・OFFを実施。	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

・意見箱を設置して、その意見に対する回答を3日以内に掲示。 ・利用者アンケートを実施し、その意見を踏まえて施設運営に反映。 ・従業員が直接話をお聞きし、改善すべきところは早急に改善。 ・直接いただいた意見・要望を全従業員の共通項目とし、施設運営に反映。

6 外部専門家意見

屋内プール、屋外プール、トレーニング室の利用者数が屋内プールの工事休館前や昨年度と比較して増加しており評価できる。精力的に実施されたチラシの小学校への配付やポスティングなど広報の効果が得られたためと思われる。今後も更なる利用者の増加を目指し、効果的な情報発信や利用促進に向けた工夫を継続していただきたい。 また、利用者満足度についても非常に高い評価を得ることができている。意見箱に寄せられた利用者の声に対して迅速に回答・対応している点についても評価できる。さらに、利用者からの要望について、前例にとられすぎることなく、現在の社会状況や利用者ニーズに応じた柔軟な対応がなされている点も良い取り組みであると考ええる。こうした日々の対応の積み重ねが、利用者満足度の向上にも寄与しているものと考えられる。今後も利用者のニーズを適切に把握し施設運営に生かすことで引き続き高い評価を維持していただきたい。（特に利用者の新たな不満事項に真摯に向き合い、できるだけ早期に解決を図っていただきたい） 収支については、人件費の高騰が支出の増に大きく影響しているものの、自主事業で教室在籍者を増やすなど増収の取組みや業務委託の効率化を図るなど支出を削減することにより黒字としている部分は大きく評価できる。次年度もサービス水準を維持しながら更なる管理費の縮減や効率的な運営に取り組んでいただき、健全な施設運営を継続していただきたい。
--

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	S	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和7年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立淀川屋内プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	大阪スポーツパートナーズ 【構成員】 コナミスポーツ株式会社 近鉄ファシリティーズ株式会社 イオンディライト株式会社 株式会社 COSPA ウエルネス 株式会社 サンアメニティ
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		86.8%
達成率		108.5%

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		85.8%
達成率		107.3%

2 管理運営の成果・実績（アイススケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		
達成率		

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	95,175	87,759	7,416
稼働率			

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

令和7年度 指定管理者年度評価シート

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	49,208	48,287	921
稼働率			

利用状況（アイススケート）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	74,154,739	73,976,000	178,739	
	計画	73,976,000	73,976,000		
利用料金（使用料）収入	実績	43,739,600	42,674,804	3,204,168	プール・トレーニングジム共に利用者が増加傾向にあります。
	計画	40,535,432	40,535,432		
自主事業収入	実績	57,787,042	56,892,259	-13,754,239	スイミング・カルチャー教室は増加傾向にありますが、自主事業全体の底上げが必要です。
	計画	71,541,281	68,752,880		
その他収入	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
合計	実績	175,681,381	173,543,063	-10,371,332	
	計画	186,052,713	183,264,312		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	64,283,856	64,434,037	-6,471,092	一部の職員単価が計画より少なかったことや、業務効率化を日勤シフト要員数を見直したことが主な要因です。
	計画	70,754,948	68,150,464		
物件費	実績	71,270,206	72,796,158	-2,200,818	水光熱費が計画より大幅に下回ったためマイナスで推移しました。
	計画	73,471,024	70,756,062		
修繕費	実績	4,945,877	6,711,001	-1,959,703	当該年度においては修繕案件が計画よりも下回りました。
	計画	6,905,580	6,905,580		
自主事業支出	実績	10,165,316	9,907,469	-1,673,305	収入が計画未達による支出減が主な要因です。
	計画	11,838,621	11,452,232		
その他支出	実績	13,986,787	16,488,723	-9,095,753	通信費や手数料等の経費が計画よりも下回りました。
	計画	23,082,540	25,999,974		
合計	実績	164,652,042	170,337,388	-21,400,671	
	計画	186,052,713	183,264,312		

令和7年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	108.5%	B	

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・弊社全店の購買力を生かした購買システムから消耗品の発注を行った。 ・消耗品等の購入価格を本社にて一括交渉することにより、コスト削減した物品の購入。 ・消耗備品等の在庫管理を行い、必要に応じて発注購入を行った。 ・光熱費削減の為、空調一括操作を行わず、個別に必要な箇所のみの運転の徹底を行った。 ・光熱費削減の為、昼間の照明ONのエリアを限定した。 ・スタッフの個々の担当エリアを拡大することで、効率的な人員配置を行い人件費削減を行った。 ・集客率の低いスタジオレッスンに関しては、レッスンの改廃も実施した。	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

・ホームページお問合せフォーム（Google口コミ含む）へタイムリーにメール対応を行いました。 ・意見箱の設置および随時回答および対応を行いました。 ・窓口や電話等の意見・要望対応についてスタッフ連絡ノートにて情報を共有し、均一化いたしました。 ・利用者アンケートを実施し、意見・要望に改善に向けて対応実施いたしました。

6 外部専門家意見

利用者数が前年度比で増加しているのに加えて、利用者満足度についても前年度は目標未達であったトレーニング室を含め目標達成し、さらに満足度も向上していることは評価できる。利用者からの要望に対しても、従来の運用のみにとらわれることなく、現在の社会環境や利用形態の変化を踏まえた柔軟な対応がなされており、こうした取り組みも利用者満足度の向上につながっているものと考えられる。次年度以降も利用者のニーズを捉えながら、利用促進につながる取組みを継続していただき、更なる高評価につながっていただきたい。（特に利用者の新たな不満事項に真摯に向き合い、できるだけ早期に解決を図っていただきたい） 収支については、収入・支出ともに計画値を下回る実績となっているが、業務効率化による人員の適正配置に努め、支出を削減することにより収支を黒字としている点は評価できる。 自主事業全体の底上げが必要とのことであるが、教室受講者等のニーズを把握・分析し民間事業者のノウハウを活かしながら引き続き顧客獲得に向けた方策を検討していただきたい。スポーツに関連する教室での既存利用者の利用拡大に加え、例えばカルチャー教室などスポーツ以外の事業の実施・誘致も含め、これまで施設との関わりが少なかった層の利用や、潜在的な利用者の掘り起こしにつながるような利用促進策を検討されたい。

令和7年度 指定管理者年度評価シート

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	